



第3回 人権問題に関するエッセイ

審査結果発表

主催：一般社団法人人権問題研究協議会

最優秀賞・・・該当なし

優秀賞・・・賞状と副賞（各3万円）

野口 蓮香 様（13歳・中学2年）「障がい者に対する偏見」 東京都調布市

古田 妃奈莉 様（12歳・小学6年）「いじめー沈黙という罪ー」 神奈川県相模原市

佳作・・・賞状と副賞（クオカード3千円分）

前田 幸汰 様（17歳・高校2年）「FAKEではなくFACTを」 東京都多摩市

松叢 あんね 様（13歳・中学1年）「性の多様性への第一歩」 長崎県長崎市

西村 徹也 様（66歳）「身近にある差別」 長崎県大村市

古瀬 節子 様（72歳）「父が教えてくれた『平和への近道』」 山形県山形市

田中 未空 様（19歳）「日本における外国人労働者の人権問題」 東京都大田区

※年齢や学年は2月14日時点。

以上7名の方が受賞されました。

おめでとうございます！

総評

今回のエッセイコンテストは、今までで一番多く、360点の応募がありました。有難うございました。

年齢的には11～91歳まで、居住地も海外及び国内は北海道から九州、沖縄まで幅広く、甲乙つけがたい優秀な作品ばかりでした。

特に目を引いたのは、10代の若い人たちの作品で、読んでいて情景が浮かび、読み終わった後もすがすがしい気持ちにさせてくれました。学校の先生方のご理解、ご協力に心より感謝致します。

6人の審査員はそれぞれ得意分野も違い感性も違いますので、評価にも違いがありましたが、概ね高得点の作品は過半数が同じ作品を選んでいました。

読んでいて非常に残念だったのは、サブテーマと中身がマッチしておらず、その付け方に工夫が必要な作品が数多く見受けられたことです。また、優秀作品候補だと思われたものが、最後の部分でがっかりしてしまうものも結構ありました。結の部分は非常に大事ですので疎かにしないで、自分の視点と自分の言葉で、現在そして未来のこともしっかり書くことより説得力があり輝いた作品になります。

それにしても皆様の作品を読んでいてさまざまなことを考える良い機会となりました。

次回のエッセイも楽しみにしています。

